

10月 園長だより

センス・オブ・ワンダー

「センス オブ ワンダー」この本は、世界で最初に環境汚染問題を告発したとされている『沈黙の春』を書いた海洋生物学者レイチェル・カーソンの最後のメッセージです。

自分の甥ロジャーと自然の中で過ごす日々から、彼女が確信した思いをエッセイ風に書いています。**神秘さや不思議さに目をみはる感性こそ子どもにとって重要である**というカーソンの言葉は、自然体験を核とした環境教育の原点として、多くの人々から支持され、折に触れ強調されるものとなりました。

レイチェル・カーソンの言葉で「知ることは感じることの半分も重要ではない」という一説があります。

その意味は・・・

『子どもたちが出会う事実の一つひとつが、やがて知識や知恵を生み出す種子だとしたら、様々な情緒や豊かな感受性は、この種子を育む肥沃な土壌です。幼い子ども時代は、この土壌を耕すときです。美しいものを美しいと感じる感覚、新しいものや未知なものに触れた時の感激、思いやり、憐れみ、驚嘆や愛情などのさまざまな形の感情がひとたび呼び覚まされると、次はその対象となるものについてもっとよく知りたいと思うようになります。そのようにして見つけた知識は、しっかりと身につきます。』

『子どもたちの世界は、いつも生き生きとして新鮮で美しく、驚きと感激にみちあふれています。残念なことに、私たちの多くは大人になる前に澄みきった洞察力や、美しいもの、畏敬すべきものへの直観力をにぶらせ、ある時は全く失ってしまいます。もしもわたしが、すべての子どもの成長を見守る善良な妖精に話しかける力を持っているとしたら、世界中の子どもに、生涯消えることの無い**センス オブ ワンダー=神秘さや不思議さに目をみはる感性**を授けて欲しいと頼むでしょう。』と書かれています。

センス オブ ワンダー=子どもの学ぶ力の源泉といえます。そして、この学ぶ力「自己教育力」こそが重要なのです。

つまり、いわゆる早期教育で失うものが多い理由の一つが、「なぜ?」「どうして?」そう感じる前に、その理由をひたすら教えられてしまうことなのです。

ワンダーの心が自ら学ぶ意欲を生み出していくと考えれば、幼児期の自然との関わりが、その子の人生に大きな影響を及ぼすことは確かです。だからこそ、私たち大人は自然の力を借りて保育をする！そこから育まれるものは人工的に作る事のできない環境の中で、大人の想定を超える体験と学びが可能なのです。



10月 園だより

令和3年 9月30日(木) まことさつなえ保育園

つい先月までの真夏日が恋しくなるほど一気に気温が下がり、朝夕は「さむいね～」と子どもたちからも声があがる程になりました。緊急事態宣言がようやく解除される予定の北海道。札幌の感染者数も落ち着いてきましたね。コロナ禍でも安全に、元気いっぱい身体を動かして遊び、「楽しいことをたくさん見つけていきたいな」と思っています。

SDGS。日本でもほぼ2人に1人が「聞いたことがある」と

答えるなど、その認知度は確実に上がっているようです。

一見難しい内容ばかりで、自分には関係ないと思いがちですが内容を紐解いていくと、地球で生きていくためには意識をしないといけないものだということがわかります。

今月は、子どもと一緒にご家庭でも簡単に取り組める内容をご紹介しますと思います。

「7.エネルギーをみんなにそしてクリーンに」

たとえば見ていないテレビのつけっぱなし、使っていない部屋の電気のつけっぱなし。電気の無駄使いがいかに「もったいない」かについて話し、ルールを決めるだけで取り組みになります。子ども自身が「もったいない」と自分から率先して行うことが大切なのです。園でも保育室を出る時はもちろん、暗くない日中は無駄に電気をつけないように心がけています。トイレの電気は子どもたちが使用後に率先して消してくれる姿も見られるんですよ！

10月の行事予定

4日(月)～身体測定週	29日(金) ハロウィン
11日(月) 開会式撮影(雨天時15日)	26日(火) 閉会式撮影
20日(水) 避難訓練(防災訓練)	

※今月の保育料実費徴収の引き落としは**10月20日(水)**です。

残高不足のないよう、ご確認をお願いいたします。

「五領域」について

6月から毎月お伝えしている幼児教育のポイントとなる五領域。

今月は5つ目の「表現」についてお話しします。

「表現」…感性と表現に関する領域

『表現』は感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする領域です。

感じたことや考えたことを周りの人に伝える方法は言葉だけに限りません。絵を描いたり制作したり、歌ったり踊ったり、もちろん笑ったり泣いたりすることも表現のひとつです。

表現することを楽しむ力や、そもそも表現するために必要な感性を養ったり、様々な物・ことに触れて感覚を味わうことも大事な『表現』のひとつなのです。

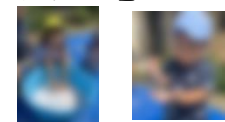
まことさつなえ保育園では毎日の生活や遊びの中で様々な経験を通して、音、形、色、手触り、動き、味、香りに触れ、五感をフルに働かせながら見たり感じたりする機会をたくさん持つようにしています。夏の水遊びと共にいった感覚遊び(片栗粉遊び)はどの年齢も大喜びでしたよ。片栗粉の感触を楽しみながらダイナミックに遊んでいました。

たくさん感覚を味わって、豊かな感性を育てて欲しいと願っています



園内にはたくさんのお花を飾っています！

飾っています！



～まこりんピック開催間近！～



緊急事態宣言が解除し、家庭保育のお願いが終了したら、待ちに待った全員集合！！

10月から本格的に「まこりんピック」に取り組みたいです！

お部屋の中、園庭、さくらんど、かぜ公園等でまこりんピックの世界を楽しみます。

開会式のあとは、順次各競技の撮影を予定しています。

開会式、閉会式以外の詳しい日程は後日お知らせ致します。

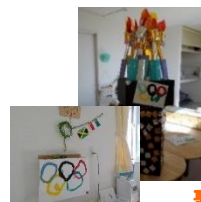
・開会式撮影(10月11日雨天時15日)

・閉会式撮影(10月26日、27日)

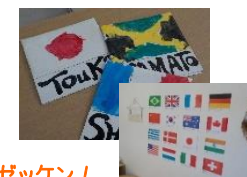


0歳児

手形のオリンピックマーク



聖火にゼッケン！



応援フラッグ！

ほしふるさんが全国児分を作ってくれました！